

# 日本産科婦人科学会 ART 登録データベースを用いたアシスティッドハッチングの有効性についての調査に対するご協力のお願い

研究代表者 所属 東京大学医学部附属病院産婦人科  
職名 准教授 氏名 原田 美由紀

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（生殖に関する諸登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会の許可ならびに東京大学大学院医学系研究科・医学部の倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

西暦 2010 年 1 月 1 日より 2019 年 12 月 31 日までの間に、生殖に関する諸登録の参加施設で、胚移植を受けた方

## 2 研究課題名

施設倫理審査委員会の承認番号 ●●●●●●●●

日本産科婦人科学会の許可番号 ●●●●●●●●

研究課題名 日本産科婦人科学会 ART 登録データベースを用いたアシスティッドハッチングの有効性についての調査

## 3 研究実施機関

東京大学医学部附属病院 原田美由紀

## 4 本研究の意義、目的、方法

アシスティッドハッチング(以下 AH)は着床障害に対する治療法として、卵子を取り囲んでいる透明体を人工的に除去する補助孵化法です。孵化が障害されている症例では AH が妊娠率・出生率の上昇に有効と考え実施されてきましたが、その有効性については現在でも意見の分かれるところであり、各施設の判断に任されているのが現状です。AH の有効性について評価し、その治療成績に影響する因子を抽出することで、AH 実施の有無、AH 適応を検討する際の補助となるデータを作成することを目的としています。全国の日本産科婦人科学会 ART 登録施設における臨床実施成績を対象とし、2010 年から 2019 年の 10 年間における AH の有効性とその治療成績に影響する因子について調査をします。

## 5 協力をお願いする内容

治療を受けた際に収集した患者さんについての情報(年齢、夫の年齢、BMI、妊娠・分娩歴等)、治療の内容(ART 適応、卵巣刺激方法、移植胚の種類、授精方法、精子回収法、胚移植時の胚の発育段階、移植胚数、AH の有無、黄体期管理等)、臨床成績(臨床妊娠の有無、妊娠転帰、出産児数、出生児の性別、分娩様式、産科合併症の有無等)を使用させていただきます。

また本研究ではすでに登録されたデータを使用するため、新たに情報を入手することはありません。

## 6 本研究の実施期間

施設の倫理委員会承認日 ～ 2025 年 12 月 31 日まで

## 7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【情報の利用】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者 原田 美由紀

研究分担者 草本 朱里

TEL: 03-3815-5411

FAX: 03-3816-2017

Email: kusamoto.h.u.tokyo@gmail.com

日本産科婦人科学会事務局

TEL: 03-5524-6900

FAX: 03-5524-6911

Email: [nissanfu@jsog.or.jp](mailto:nissanfu@jsog.or.jp)